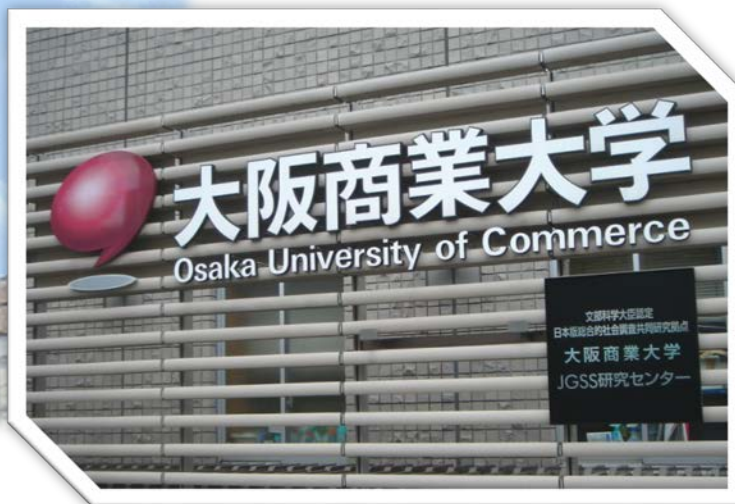


2020年9月10日

2020年度統計関連学会大会

人文学・社会科学分野におけるデータインフラストラクチャー：データの保存と共有



大阪商業大学JGSS研究センターにおける データインフラ整備の現状



大阪商業大学総合経営学部 教授	岩井 紀子
大阪商業大学公共学部 教授	宍戸 邦章
大阪商業大学公共学部 准教授	佐々木 尚之

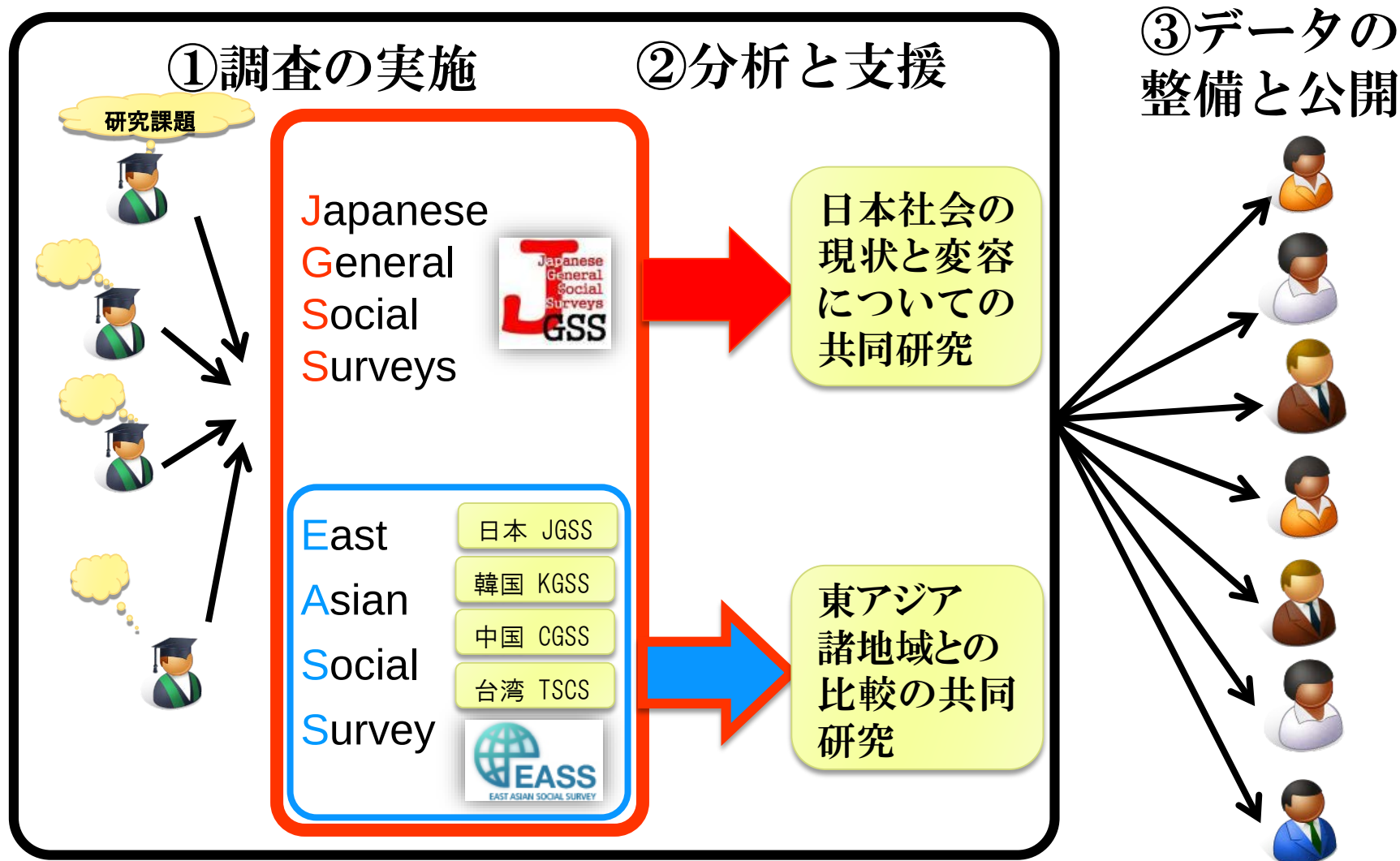
JGSS研究センターの拠点機関としての役割

- 1998年からのデータの共有と国際連携の経験を踏まえ、
- **JGSSデータ**を整備し、
- 公開を希望する**他の研究者・機関のデータ整備**を助け
- データの英語化と**EASS国際統合データ**の構築を進め、
- **累積**および**パネルデータ**を整備し、
- 関連文献の情報を収集・提供する。
- この事業に参加する他の拠点機関と連携して、データの匿名性を保証しつつ**データの共有化を図る取組み**を実施する
- NIIのシステムを拡張して**JGSSデータダウンロードシステム**

Japanese General Social Surveysプロジェクト

- ▶ 1998年 9月 JGSS研究プロジェクトがスタート
- ▶ 1999年 3月 第1回予備調査実施
- ▶ 1999年 4月 文部科学省から「学術フロンティア推進拠点」に指定
- ▶ 1999年11月 第2回予備調査実施(大阪府・首都圏)
- ▶ 2000年11月 JGSS-2000実施
- ▶ 2003年11月 EASSプロジェクト準備開始
- ▶ 2003年11月 (財)日本統計協会より 統計活動奨励賞受賞
- ▶ 2004年 4月 文部科学省から「学術フロンティア推進拠点」に再指定
- ▶ 2006年10月 第1回EASS調査 EASS 2006「家族」モジュールを含むJGSS-2006実施
- ▶ 2008年 7月 JGSS研究センター発足
- ▶ 2008年 8月 文部科学省「人文学及び社会科学における共同研究拠点整備の推進事業」に採択
- ▶ 2008年10月 文部科学大臣より「共同利用・共同研究拠点」の認定
- ▶ 2013年 4月 文部科学大臣より「特色ある共同利用・共同研究拠点」再認定
- ▶ 2014年 4月 科研基盤(A)「東アジアにおける ワークライフバランスと社会の持続可能性に関する総合的研究」
- ▶ 2016年 5月 文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」に採択
- ▶ 2017年 4月 科研基盤(A)「東アジアにおける 家族の変容と社会の持続可能性に関する総合的研究」
- ▶ 2018年10月 日本学術振興会「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業 人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築プログラム 拠点機関におけるデータ共有基盤の構築・強化委託業務」に採択
- ▶ 2019年 4月 文部科学大臣より「特色ある共同利用・共同研究拠点」再々認定
- ▶ 2020年 4月 文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業機能強化支援」に採択
- ▶ 2020年 4月 科研基盤(A)「東アジアにおける 健康と社会の持続可能性に関する総合的研究」

J G S S 研究センター業務



East Asian Social Surveyプロジェクトの連携体制

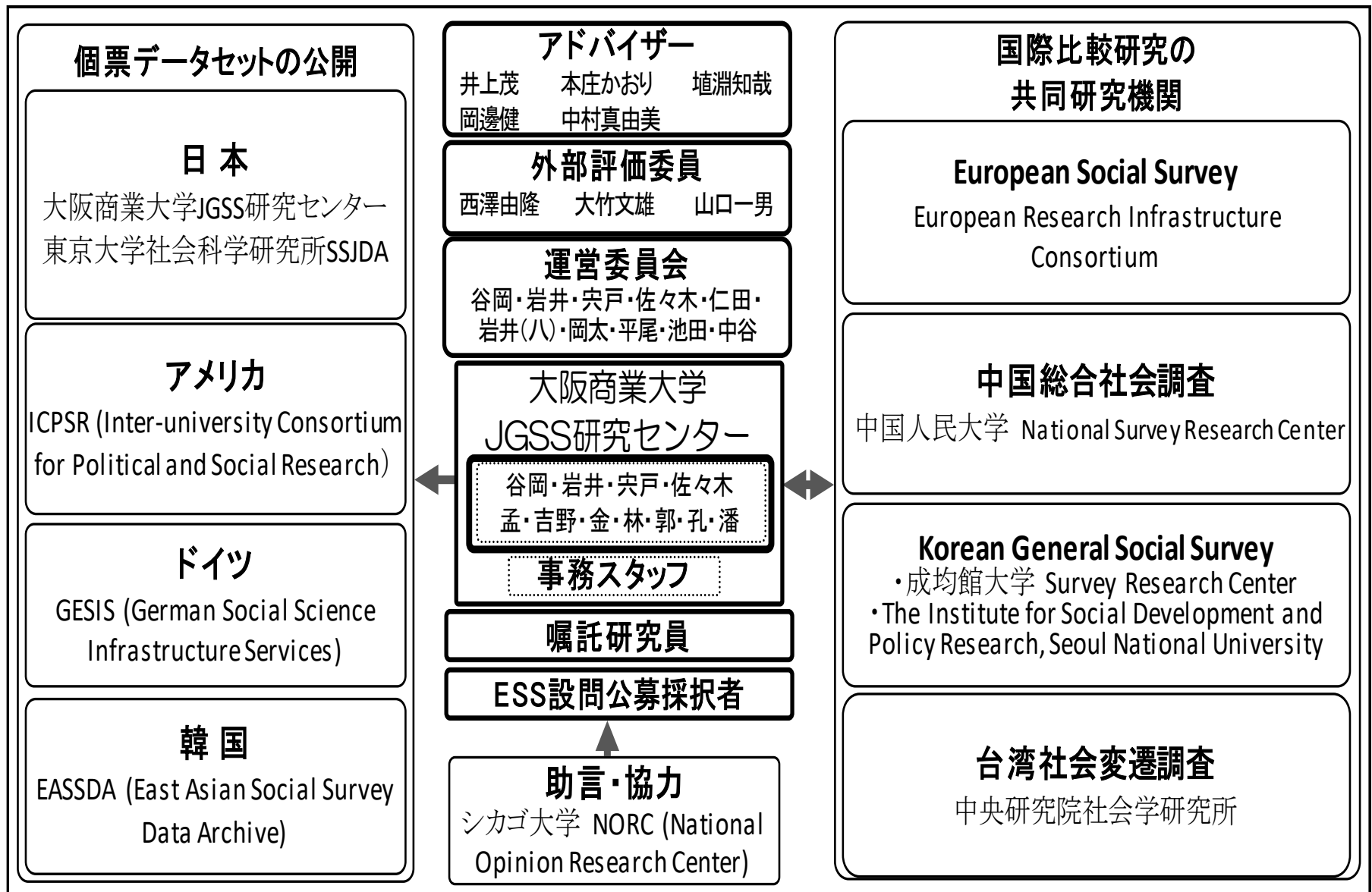
	日本	韓国	台湾	中国
調査名	日本版総合的社会調査 Japanese General Social Surveys (JGSS)	Korean General Social Survey (KGSS)	台湾社会変遷調査 Taiwan Social Change Survey (TSCS)	中国総合社会調査 Chinese General Social Survey
調査主体	大阪商業大学JGSS研究 センター(協力:東京大学社会科学 研究所(E06-12)、京都大学大学 院教育学研究科(E16以降))	成均館大学 Survey Research Center・ ソウル大学 Institute for Social Development and Policy Research	中央研究院 社会学研究所	中国人民大学 中国調査与数据中心
研究代表(現)	岩井 紀子	KIM, Jibum	吳 齊殷	王 衛東
EASS事務局担当	2008-09/2016-17/2020	2004-05/2012-13/2018	2006-07/2014-15	2010-2011
担当モジュール	EASS 2010/20	EASS 2006/2016	EASS 2008/2014/15/18	EASS 2012
調査対象	20~89歳の男女	18歳以上の男女	18歳以上の男女	18歳以上の男女
抽出方法	層化2段無作為抽出	層化3段無作為抽出	層化3段無作為抽出	層化4段無作為抽出
調査方法	面接・留置法の併用	面接法	面接法	面接法
調査頻度	2000から1~3年間隔: J03/06- 12は留置2種類	2003から毎年 (2015以外)	1984/85から毎年; 1990 以降は2種類	2003から毎年

EASS (East Asian Social Survey)

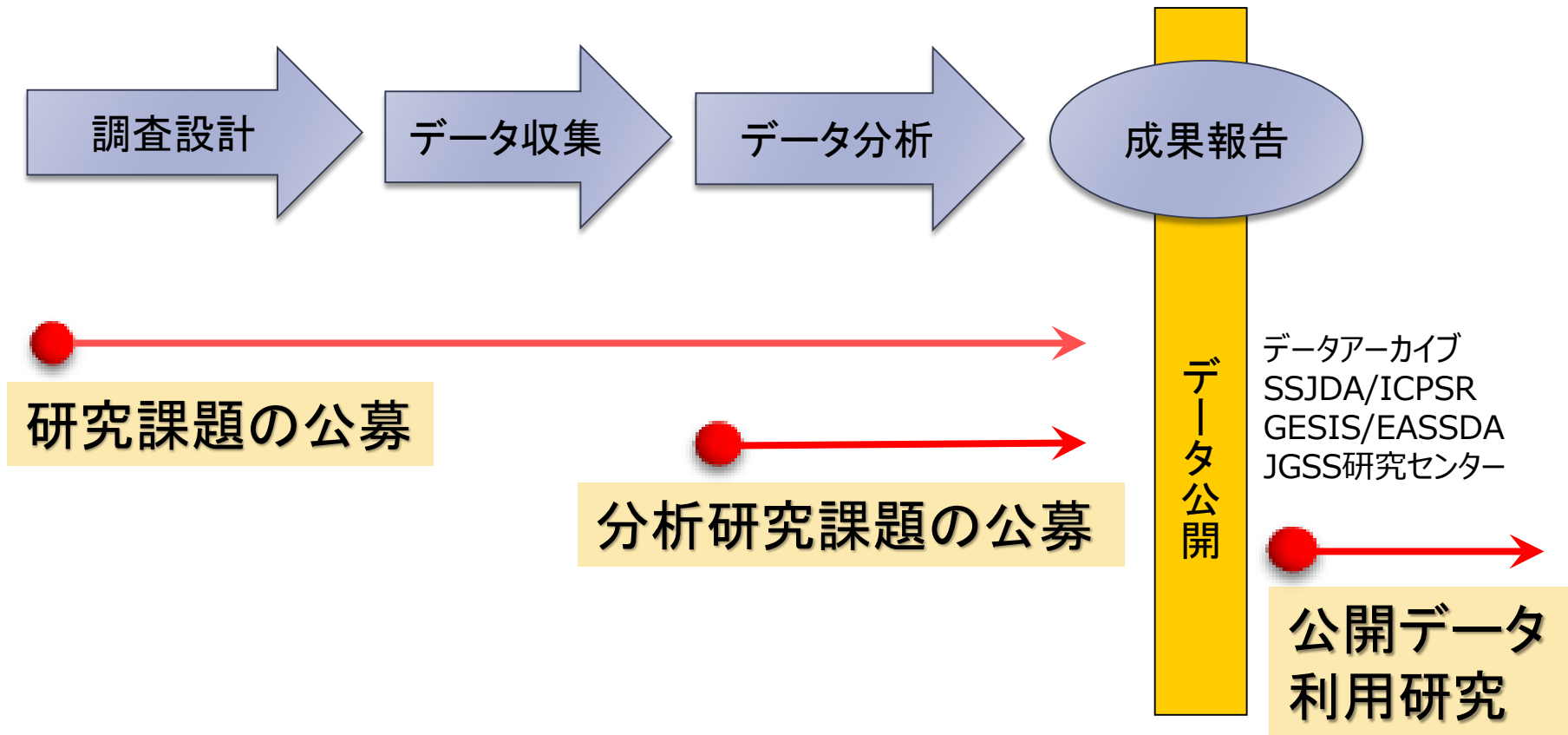
東アジア社会に特有な問題や関心に基づいて、共通の設問（モジュール）を設定し、国際比較分析を実施、分析データ作成、データ公開。

- 2003年 JGSS国際シンポジウム2003 を契機にEASSプロジェクト開始
- 2006年 第1回 EASS 2006 : 家族
- 2008年 第2回 EASS 2008 : 文化とグローバリゼーション
- 2010年 第3回 EASS 2010 : 健康と社会
- 2012年 第4回 EASS 2012 : 社会的ネットワークと社会関係資本
- 2014/2015年 第5回 EASS 2014/15 : ワークライフ
- 2016/2017年 第6回 EASS 2016 : 家族
- 2017/2018年 第7回 EASS 2018 : 文化とグローバリゼーション
- 2021年 第8回 EASS 2020:健康と社会 (Covid-19含む)

JGSS研究センターの国際共同研究体制



本拠点の共同研究の3種類の参加ルート



JGSS/EASS実施済・準備中・整備中の調査と公開状況 (1)

調査名	実査年月	有効回収数(率)	テーマ	公開状況
JGSS-2000	2000.10	2,893 (65%)		公開済 (JGSSは、 SSJDA/ICPSR/ GESISから; EASSはEASSDA とICPSRから)
JGSS-2001	2001.10	2,790 (63%)		
JGSS-2002	2002.10	2,953 (62%)		
JGSS-2003	2003.10	A 1,957 (55%); B 1,706 (48%)	ネットワークモジュール	
累積2000-2003	-	12,299		
JGSS-2005	2005.8	2,023 (51%)		
JGSS-2006	2006.10	A 2,124 (60%); B 2,130 (60%)	E06モジュール含	
EASS 2006	2006.10	B 2,130 (60%)	EASS 2006「家族」モジュール	
JGSS-2008	2008.10	A 2,060 (58%); B 2,160 (61%)	E08「文化とグローバリゼーション」モジュール含	
EASS 2008	2008.10	B 2,160 (61%)	E08「文化とグローバリゼーション」モジュール	
JGSS-2009LCS	2009.1	28~42歳; 2,727(51%)	ライフコース	公開済(本拠点)
JGSS-2010	2010.2	A 2,507 (62%); B 2,496 (62%)	E10「健康」モジュール含	公開済
EASS 2010	2010.2	B 2,496 (62%)	EASS 2010「健康」モジュール	
累積2000-2010	-	27,799		特別利用
JGSS-2012	2012.2	A 2,332 (59%); B 2,335 (59%)	E12モジュール含	公開済
EASS 2012	2012.2	B 2,335 (59%)	E12「ネットワーク・社会関係資本」モジュール	

JGSS/EASS実施済・準備中・整備中の調査と公開状況（2）

調査名	実査年月	有効回収数(率)	テーマ	公開状況
JGSS-2013LCS	2013.2	JGSS-2009LCSの追跡サンプル: 922(86.1%)		公開済(本拠点)
JGSS-2015	2015.2	2,079(52%)	E14/15「仕事と生活」モジュール含	公開済
EASS 14/15	2015.2	2,079(52%)	E14/15「仕事と生活」モジュール	ICPSR寄託 公開済(本拠点)
JGSS-2016	2016.2	25-49歳オーバーサンプル 2100	J15と調査票同一	公開済(本拠点)
JGSS-2017	2017.2	744(55.6%)	EASS 2016「家族」モジュール含	特別利用
JGSS-2017G	2017.11	860(64.0%)	E18「文化とグローバル化」モジュール含	特別利用
JGSS-2018	2018.2	1,916(54.3%)	J17調査票とほぼ同一	特別利用
EASS 2016	17.2/18.2	J17 744(55.6%); J18 1,916(54.3%)	EASS 2016「家族」モジュール	整備中/特別利用
JGSS-2018G	2018.11	678(62.7%)	J17Gと同一	整備中/特別利用
EASS 2018	2017/18.11	J17G 860(64.0%); J18G 678(62.7%)	E18「文化とグローバル化」モジュール	整備中/特別利用
JGSS-2000-2015累積データ				特別利用
JGSS-2000-2018累積データ				特別利用
JGSS-2019LCS	2019.2	JGSS-2013LCSの追跡サンプル: 644(88.1%)	JGSS-2009/2013LCSの追跡	整備中
JGSS-2021	2021.1	A 3,300; B 3,300; 全国440地点	E10「健康」モジュール含/EASS健康含	実査準備中

JGSS単年度データ(12)、補足データ(2)、累積データ(4)、パネルデータ(1)、EASSデータ(7)

JGSSデータセットの利用件数

- SSJDA : JGSSデータの利用件数は**第1位**。
- ICPSR : 15,000以上のデータのうち、**常に上位**。

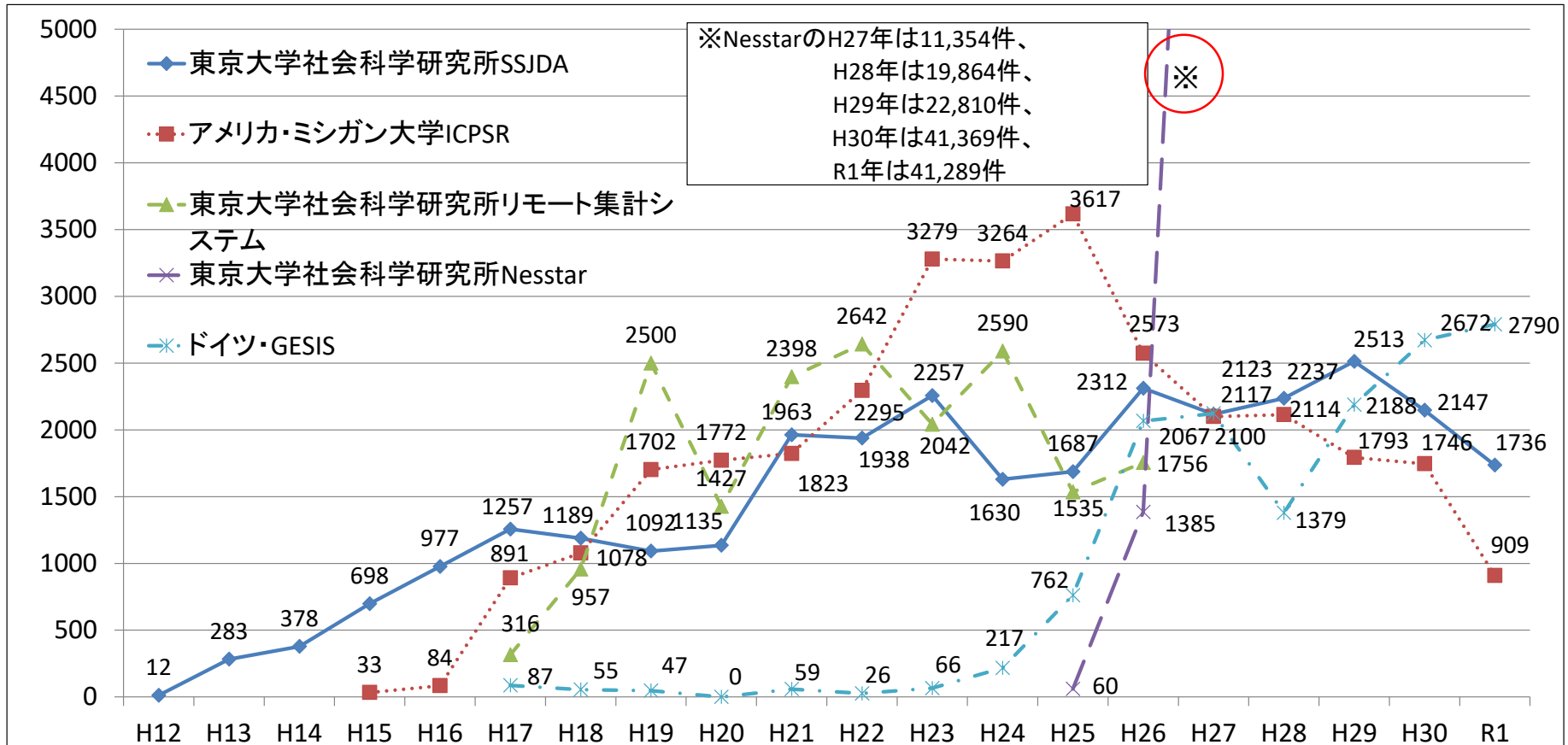


図1 H12-R1年度 JGSSデータセット/調査情報利用件数

注)

東京大学社会科学研究所はH27年7月にリモート集計システムを閉鎖し、Nesstarにリモート集計の機能を集約している。

ICPSRの利用件数には、オンライン分析システムの利用数(H26年の32件、H27年の115件、H28年の93件、H29年の70件、H30年の80件、R1年の79件)が含まれている。¹¹

JGSSデータセットの利用者数

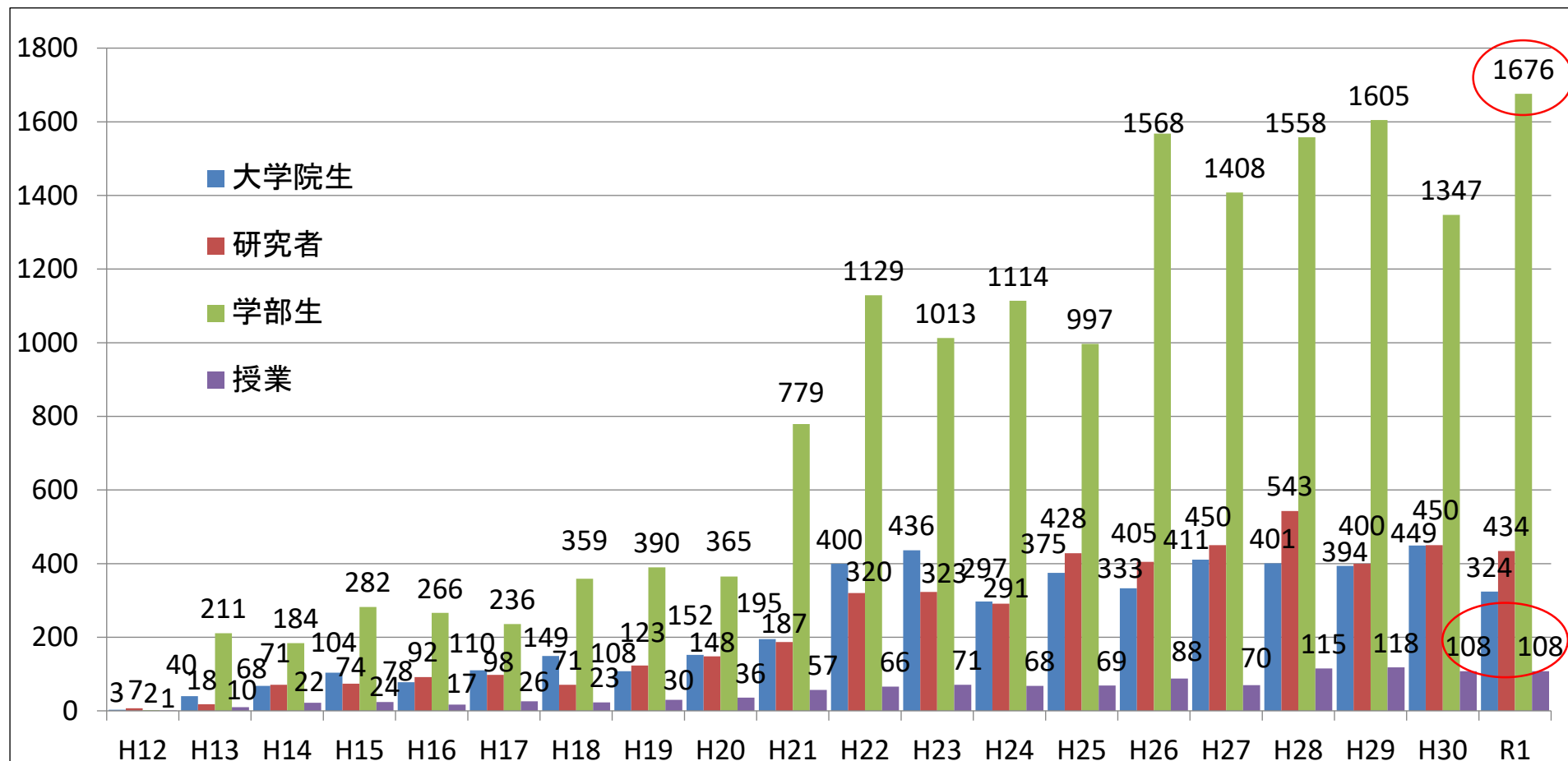


図2 H12-R1年度 JGSSデータ利用者・授業数

SSJDA/ICPSRを通したJGSS/EASS データ利用者の所属機関

2013年3月末

- ▶ 大学 322
 - 国内: 202
 - 海外: 120

- ▶ 研究機関 55



2020年3月末

- ▶ 大学 651
 - 国内: 261
 - 海外: 390

- ▶ 研究機関 77

▶ 77研究機関の例（本拠点webサイト掲載）

The World Bank（アメリカ）、WHO健康開発総合研究センター

Max Planck Institute for Demographic Research（ドイツ）

Ecole des Hautes Etudes en Sciences Sociales（フランス）

Swedish National Data Service（スウェーデン）

Chinese Academy of Social Sciences（中国）

Korea Labor Institute（韓国）、Academia Sinica（台湾）

国立：情報学研究所、長寿医療センター研究所など

科学警察研究所、産業技術総合研究所、統計数理研究所など

（財）：ひょうご震災記念21世紀研究機構、家計経済研究所など

（独）：ジェトロ・アジア経済研究所、労働政策研究研修機構など

（株）：第一生命経済研究所、日本総合研究所、三菱総合研究所など

金融庁総務企画局市場課、経済産業省大臣官房政策企画室

厚生労働省、衆議院調査局、総務省、内閣府経済社会総合研究所、

内閣府国民生活局総務課調査室、内閣府男女共同参画局

農林水産省農林水産政策研究所、文部科学省など

業務実施体制

業務項目	担当責任者（職名）
①データアーカイブ機能の強化(共有化) JGSSデータの整備 JGSSデータダウンロードシステムの構築	岩井 紀子（センター長）
②海外発信・連携機能の強化（国際化） JGSSデータ英語版の構築 EASSデータの構築	佐々木 尚之(公共学部 准教授)
③データ間時系列等接続関係の整備（連結化） JGSS/EASS累積データおよび パネルデータの整備	穴戸 邦章(公共学部 教授)

データアーカイブ機能の強化

JGSSデータの整備（共有化①）

本センターが 保有するデータ	データ作成				データ公開		
	職業産業 コーディング	欠票分析	クリーニング	ウエイト作成	基礎集計表・ コードブック	分析研究課題 の公募	寄託
① JGSS-2015	○	○	○	○	○	○	ICPSRに寄託済
② JGSS-2016	○	○	○	○	○	○	本拠点から公開
③ JGSS-2017	○	○	○	○	○	-	特別利用中
④ JGSS-2018	○	○	○	○	○	-	特別利用中
⑤ JGSS-2017/18	○	-	-	-			
⑥ JGSS-2017G	○	○	○	○	○	-	特別利用中
⑦ JGSS-2018G	○	○	○	○	作成中		
⑧ JGSS-2017G/2018G	○	-	-	-			
⑨ JGSS-2019LCS	○	○	クリーニング中	-			
<限定公開データ>	データ作成	利用体制整備	利用受付開始	受理件数／応募件数			
⑩ 都道府県データ (J08、J10、J12、 J15、J16)	○	○	2019年7月10日	21/35			
⑪ 地点情報データ (J00、J01、J02、 J03、J05、J06、J08、 J10、J12、J15、J16)	○	○	2019年10月4日	1/2			

データアーカイブ機能の強化

他の研究者・研究機関のデータの整備（共有化②）

本センターが受け入れるデータ	主な調査項目	整備状況
① アジアンバロメータ調査4日本版 池田謙一 同志社大学 教授	価値観	整備中： ダウンロードシステムから公開予定
② ライフスタイルに関する世論調査2013 青柳みどり 国立環境研究所 主任研究員	ライフスタイル 気候変動	整備中： ダウンロードシステムから公開予定
③ 北大Wave1～Wave8（実験データ） 山岸俊男 北海道大学名誉教授（故人）	行動経済学の実験 データ 10種類以上の心理 尺度などを含む	整備中： 出身地変数の削除などの匿名性処理後、 ダウンロードシステムから公開予定
④ 現代日本の産業界の最高指導者 萬成博 関西学院大学 名誉教授	経歴など	整備中： 利用体制検討中
⑤ 社会参加活動と生活意識に関する調査	社会参加	準備中： 調査実施時の所属先と手続き中
⑥ 健康と社会生活に関する調査	健康	保留中： 共同研究者から倫理審査の必要性の指摘
⑦ アジア国際比較調査	価値観	共同研究機関との権利の問題⇒ プロジェクト対象外

他の研究者・機関のデータの整備を通じて見えてきた問題

- 権利関係の複雑さ
 - 研究資金、実施主体、共同研究者など
- 調査実施時にデータの公開を想定していない場合の取り扱い
 - 倫理審査など
- データを公開した際の利用可能性
 - 「現代日本の産業界の最高指導者」のデータは個人情報の特定が容易
 - 一般利用以外の特別利用申請の体制づくり
- 匿名性を高めるための処理方法がデータにより異なる
 - 実験データと調査データなど（100ケース vs 3000; 脳の画像）
- 質的データ（インタビュー調査）の資料の整備・利用の要望

データアーカイブ機能の強化（共有化③） 国勢調査の単位区など匿名性の高い情報の追加利用

・ オンサイト利用（HPより）

「JGSS 追加データ・追加情報 利用申請書」の提出（毎月 25 日締切）



運営委員会による追加データ・情報利用申請の審査

↓許可の場合

オンサイト利用の日程調整



本センターへ来所し、オンサイト室内に設置された PC を用いて分析

パーソナルコンピュータ、カメラ、レコーダ等の記録機器類、無線 LAN 端末、携帯電話等の通信機器類はオンサイト室内に持ち込めません。JGSS 研究センター内のロッカーをご使用ください。



分析結果の持ち帰り

利用者の作業ファイルは一年間保存されます。

↓ 地点情報を用いた論文を投稿する場合

本センターで追加データ・情報に関する記述について確認するので、
事前に JGSS 研究センターに投稿予定論文をご送付ください。



成果報告

追加データ・情報を利用して、『JGSS 研究論文集』以外の場で研究成果の発表を行う場合は、JGSS 研究センターにその旨を報告し、報告要旨や論文等のコピーを 1 部ご提出ください。また、同時に公開データセットを利用した研究の場合には、データアーカイブの指示に従い、研究成果の報告を行ってください。

保証人として、研究学科長等の所属長の署名と捺印を要求

利用可能なソフトウェア

- ・ Esri ArcGIS 10.6
- ・ Esri ArcGIS Pro 2.3
- ・ IBM SPSS 25
- ・ Stata/SE 15
- ・ R (RStudio も利用可)



海外発信・連携機能の強化（国際化）

JGSSデータ英語版の構築	データの英訳	コードブック の英訳	寄託関連資料作成	寄託
① JGSS-2015	○	○	○	○
② JGSS-2016	○	-	○	本拠点より公開
③ JGSS-2017	○			
④ JGSS-2018	○			
⑤ JGSS-2017/18	○	○		
③ JGSS-2017G				
③ JGSS-2018G				
⑥ JGSS-2017G/2018G	英訳中			
⑦ JGSSウェブサイト英語版更新	JGSS-2017以降の調査概要、事項索引・変数索引、回答分布など追加			

EASSデータの構築	統合データ作成・ク リーニング	コードブック 作成・刊行	寄託関連資料作成	寄託
① EASS 2014/2015データ	○	○	○	ICPSR寄託済み
② EASS 2016データ	○	○		
③ EASS 2018データ	統合データ作成済 現在クリーニング中			
④ EASS 2012データ図解本	日本語版原稿の執筆済み。 今年度中に出版予定（ナカニシヤ出版）			

データ間時系列等接続関係の整備（連結化）

JGSS/EASS累積データおよび パネルデータの整備	変数一覧 作成	変数変遷 追跡	統合変数 作成	データ 作成	基礎 集計表	寄託・ 公開
JGSS-2000-2015累積データ	○	○	○	○	○	
JGSS-2000-2018累積データ	○	○	○	○		
JGSS-2009/2013LCS 統合データ	○	○	○	○		○
JGSS-2009/2013/2019 LCS 統合データ	JGSS-2019LCSをクリーニング中					
EASS 2006/2016 「家族」統合データ	クリーニング中					

本センターが受け入れるデータ	整備状況
① ライフスタイルに関する世論調査2013-2016 青柳みどり 国立環境研究所 主任研究員	変数一覧、変数変遷追跡を作成し、 データの接続を検討中
② 現代日本の産業界の最高指導者 萬成博 関西学院大学 名誉教授	○1960年調査（985ケース） ⇒ ・ 調査票のPDF化済 ・ コード票のPDF化済 ・ データ入力済→SPSSに読み込み済 ○1970年調査（1,069ケース） ⇒ ・ コード票のPDF化済 ・ 調査票のPDF化済み ・ データ入力を済み→SPSSに読み込み済 ○別の研究者による1980年代の調査もあり、 統合を呼び掛ける可能性がある

JGSSデータダウンロードシステム概略

- データインフラ事業で新たに構築されるデータリポジトリの機能を拡張する形で、JGSS/EASS/整備を補助するデータのダウンロードシステムを構築する
- 現在は国立情報学研究所が開発したWEKO2によるJAIRO Cloudをもとに、多くの大学のデータリポジトリが運営されている
- 国立情報学研究所はWEKO3を開発中である
- 利用申請とダウンロードのシステムを構築し、申請からデータ入手までのスピードアップを図り、利用を促進する
- 授業での利用に際して、指導教官から、
- 都道府県などの情報を利用する際に保証人（所属長）から、承認をえるプロセスもオンラインで
- 成果報告と年度末の年度報告（終了か次年度継続）

大阪商業大学の現在のリポジトリ①

大阪商業大学学術情報リポジトリ



WEKO

トップ

ランキング

晶

検索

詳細検索

●全文検索 ○キーワード検索

?

Language

日本語

インデックスリンク

インデックスを選択してください

インデックスツリー

- 大阪商業大学論集
- 大阪商業大学商業史博物館紀要
- 地域と社会
- 大阪商業大学アミューズメント産業研究所紀要
- 大阪商業大学教職課程研究紀要
- 日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集
- 学位論文

インデックスリスト

大阪商業大学論集 [138件]

大阪商業大学商業史博物館紀要 [33件]

地域と社会 [229件]

大阪商業大学アミューズメント産業研究所紀要 [68件]

大阪商業大学教職課程研究紀要 [18件]

日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集 [114件]

学位論文 [4件]

お知らせ

(2019.10.8)

以下の論文を公開しました。

[大阪商業大学商業史博物館紀要 第18号](#)

[大阪商業大学商業史博物館紀要 第19号](#)

(2019.7.31)

以下の論文を公開しました。

[大阪商業大学論集 第15巻 第1号](#)

(2019.7.22)

以下の論文を公開しました。

[日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集\[13\]](#)

(2019.7.17)

以下の論文を公開しました。

[日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集\[12\]](#)

(2019.7.16)

以下の論文を公開しました。

[日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集\[11\]](#)

(2019.7.13)

以下の論文を公開しました。

[日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集\[10\]](#)

大阪商業大学の現在のリポジトリの例②

(2019.7.31)
以下の論文を公開しました。
[大阪商業大学論集 第15巻 第1号](#)

(2019.7.22)
以下の論文を公開しました。
[日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集\[13\]](#)

(2019.7.17)
以下の論文を公開しました。
[日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集\[12\]](#)

(2019.7.16)
以下の論文を公開しました。
[日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集\[11\]](#)

(2019.7.13)
以下の論文を公開しました。
[日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集\[10\]](#)

(2019.7.11)
以下の論文を公開しました。
[日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集\[9\]](#)

(2019.6.27)
以下の論文を公開しました。
[日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集\[14\]](#)
[日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集\[15\]](#)
[日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集\[16\]](#)
[日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集\[17\]](#) 24
[日本版総合的社会調査共同研究拠点](#)

Language

日本語

インデックスリンク

インデックスを選択してください

インデックスツリー

- 大阪商業大学論集
- 大阪商業大学商業史博物館紀要
- 地域と社会
- 大阪商業大学アミューズメント産業
- 大阪商業大学教職課程研究紀要
- 日本版総合的社会調査共同研究拠点
- 学位論文

インデックス

[日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集](#) ▶ [15巻](#)

Permalink : <http://id.nii.ac.jp/1297/00000660/>

女性の職業経歴の持続と変化—JGSS-2009/2013 ライフコース・パネル調査を用いた分析—

利用統計を見る

File / Name	License
女性の職業経歴の持続と変化—JGSS-2009/2013 ライフコース・パネル調査を用いた分析— Creative Commons : 表示 - 非営利 - 改変禁止	
女性の職業経歴の持続と変化—JGSS-2009/2013 ライフコース・パネル調査を用いた分析— (517.54KB) [1 downloads]	

タイトル(英)	Stability and Changes in Women's Work Careers: An Analysis of JGSS-2009/2013 Life Course Panel Survey Data
アイテムタイプ	学術論文 / Academic Paper
言語	日本語
著者	岩井 八郎 / イワイ ハチロウ
著者 (英)	IWAI Hachiro
雑誌名	研究論文集
雑誌名(英)	JGSS Research Series
巻	15
ページ	29 - 39
発行年	2015-03-31
出版者	日本版総合的社会調査共同研究拠点 大阪商業大学JGSS研究センター 京都大学大学院教育学研究科 教育社会学講座

JGSSデータダウンロードシステムの機能

A) アカウント登録・管理

- 利用者は、まず**利用者情報**を記入し、**アカウントを登録**する
 ※次期JAIR Cloud (weko3) で導入予定のGakuNin-RDM経由
 のユーザーログインも可能

B) データごとの利用申請フォーム

- 利用者は、**データごとに研究計画**などを作成して利用申請をする
- センターは、利用申請の内容を審査し、**許可／却下を判断**する
- 許可された利用者はシステムからデータをダウンロードできる
 (利用期間：**許可された年度の3月31日**まで)
- **学部生と院生は、指導教員がアカウントを取得してシステム上で許可**する必要がある
- 回答者の**都道府県情報**を含むデータは、**所属長が保証人**となりアカウントを取得してシステム上で許可する必要がある
- **詳細な地点情報**を含むデータは、**所属長が保証人**となりアカウントを取得してシステム上で許可する必要がある。データはセンターに來所して利用する (**オンサイト利用**)

JGSSデータダウンロードシステムの機能

C) 成果物登録

- 利用者は随時、データを利用した成果物を登録する

D) 利用報告

- 利用者は、**データを利用した年度末に研究の進捗状況を報告**する
 - 利用報告の際に、「利用継続」または「利用終了」を選択する
- 利用報告の未実施者は、今後のデータ申請を認めない

D) スタッフ用管理機能

- **利用状況の把握に必要な各種データを出力**する
- データの利用状況は、共同研究拠点の年次報告書に必要

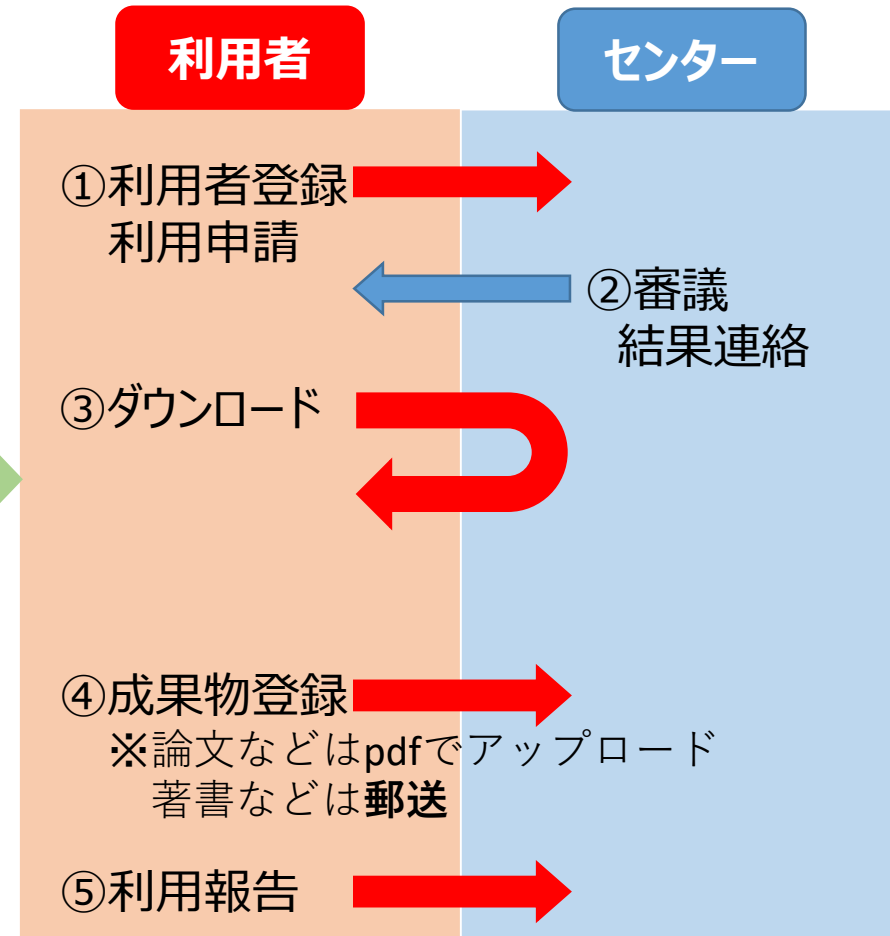
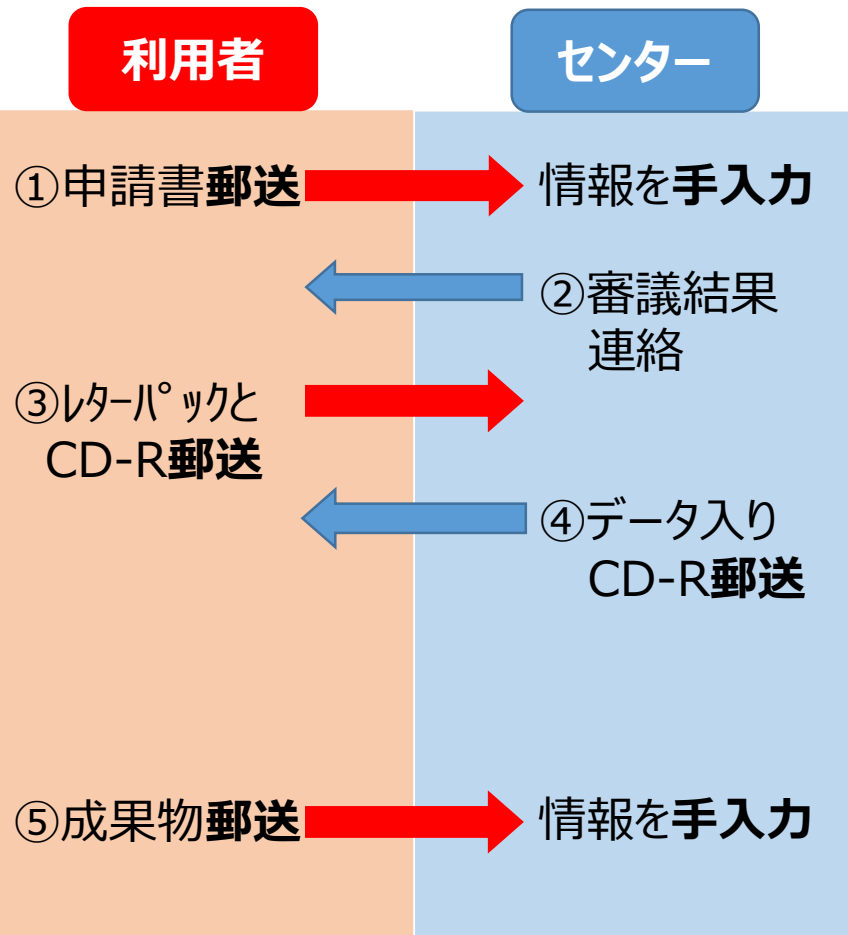
Acknowledgement

- JGSSデータダウンロードシステムの構築にあたって、慶應義塾大学パネルデータ設計・解析センターからアドバイスを頂きました
- 長年JGSSデータを公開して頂いているSSJDAやICPSRのシステムを参考にさせて頂きました

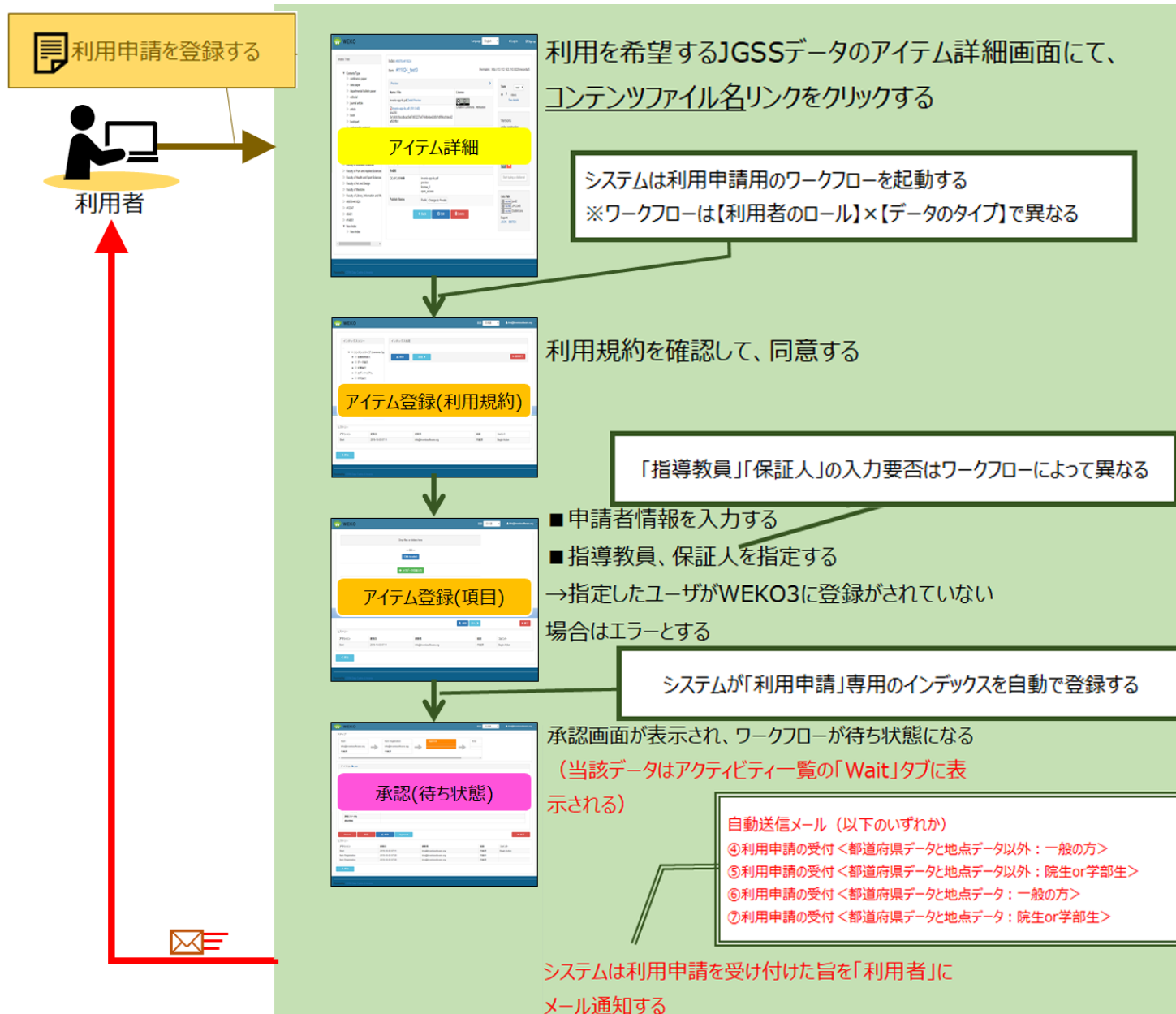
現行運用とシステム導入後の運用イメージ

現在

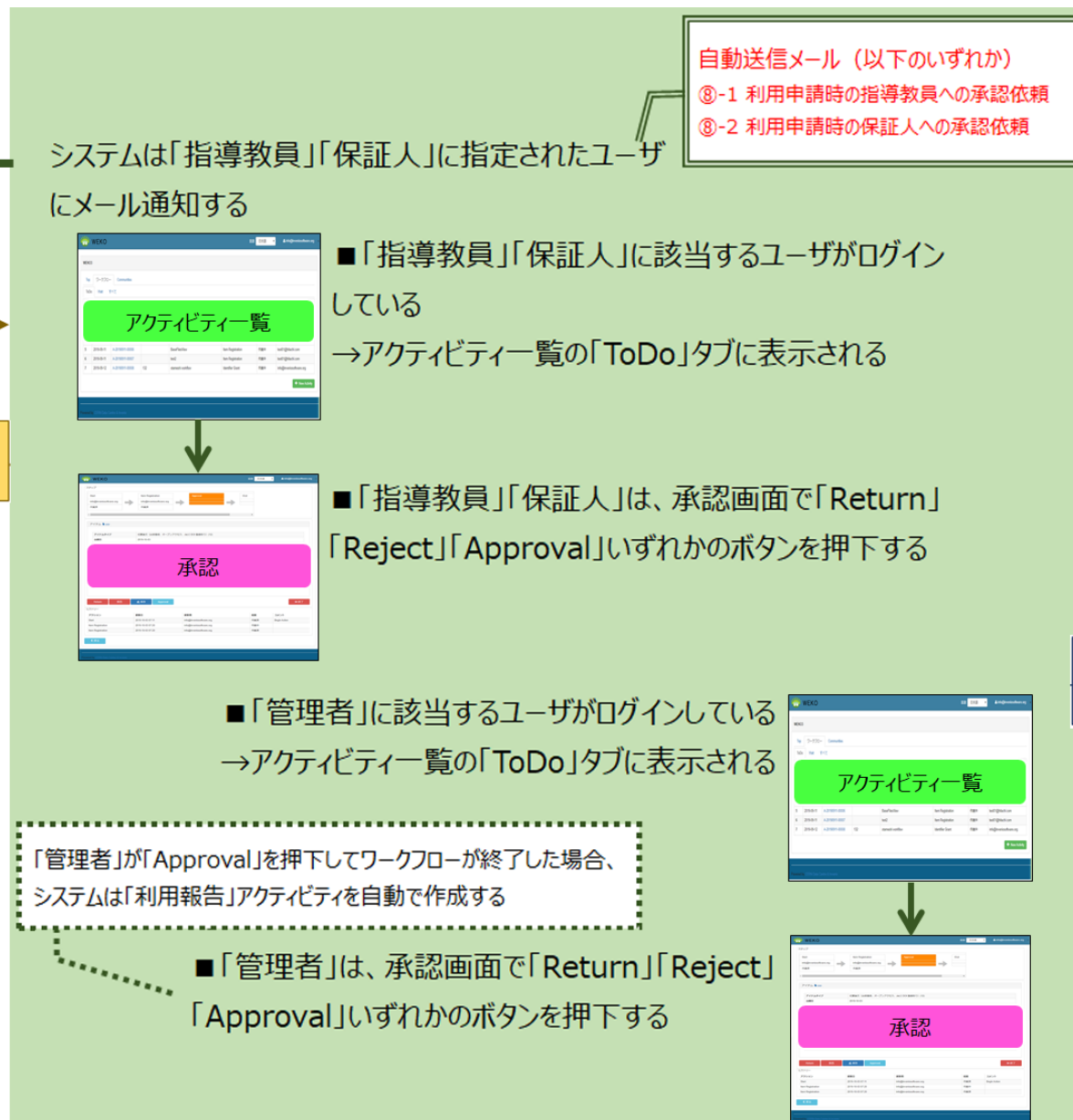
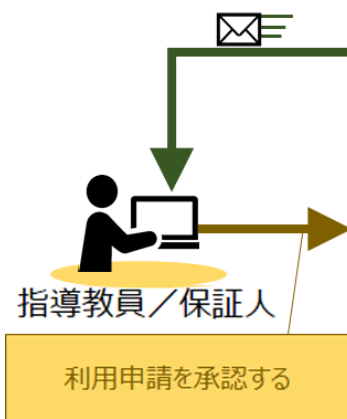
システム導入後



利用申請の流れ①



利用申請の流れ②

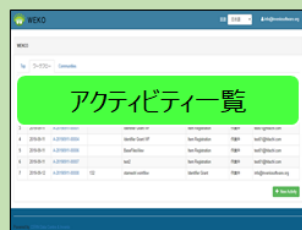


利用申請の流れ③



利用者

アクティビティを確認する



システムは「管理者」の審査が完了した旨を「利用者」にメール通知する

自動送信メール（以下のいずれか）

⑨利用申請の承認<地点データ以外>

⑩利用申請の承認<地点データ>

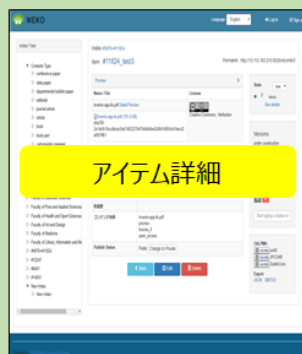
■ 申請した利用者がログインしている

→「管理者」に承認された場合、ワークフローは終了し、アクティビティ一覧の「ALL」にのみ表示される



利用者

JGSSデータをダウンロードする



■ 利用申請が承認された場合、「利用者」はアイテム詳細画面からJGSSデータのダウンロードが可能となる

※地点データは除く

成果物登録の流れ①

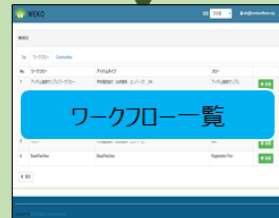
成果物を登録する



利用者



■ アクティビティ一覧の[+New Activity]ボタンを押下する



■ 成果物登録用ワークフローの[+New]ボタンを押下する



■ 成果物の現物をコンテンツファイルとして登録する
■ 成果物のタイトル、利用したJGSSデータ、公開の是非等、必要項目を入力する

システムが「成果物」専用のインデックスを自動で登録する



承認画面が表示され、ワークフローが待ち状態になる
(当該データはアクティビティ一覧の「Wait」タブに表示される)

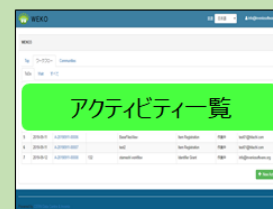
メールは固定文を自動送信する

成果物登録を受付けた旨を「利用者」にメール通知する



成果物登録の流れ②

■「管理者」に該当するユーザがログインしている
→アクティビティ一覧の「ToDo」タブに表示される



■「管理者」は、承認画面で「Return」「Reject」「Approval」いずれかのボタンを押下する



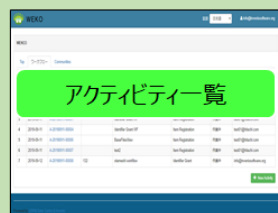
成果物を確認する



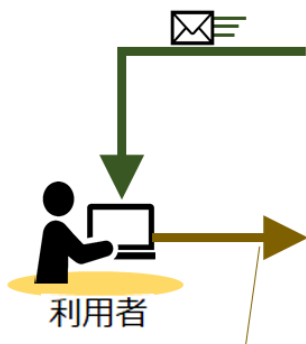
JGSSセンター

「管理者」の審査が完了した旨を「利用者」にメール通知する

メールは固定文を自動送信する



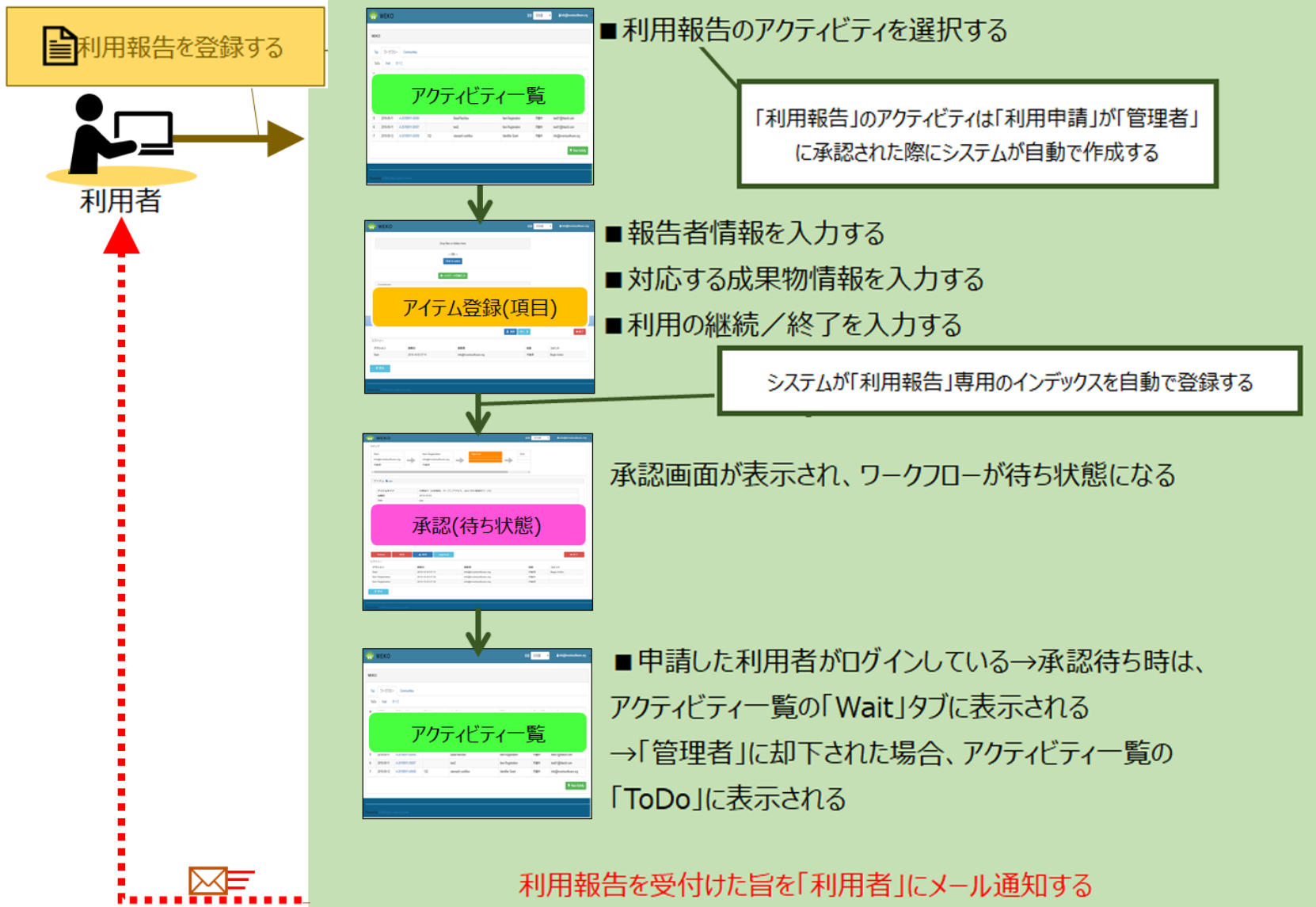
■申請した利用者がログインしている
→「管理者」に承認された場合、ワークフローは終了し、アクティビティ一覧の「ALL」にのみ表示される



利用者

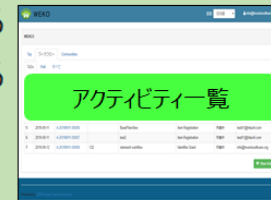
ワークフローを確認する

利用報告の流れ①



利用報告の流れ②

■「管理者」に該当するユーザがログインしている
→アクティビティ一覧の「ToDo」タブに表示される



■「管理者」は、承認画面で「Return」「Reject」「Approval」いずれかのボタンを押下する



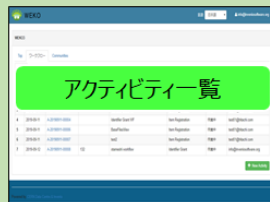
【利用報告の運用案】

利用「継続」の場合→「Return」を押下してワークフローを利用者のアクションに戻す
利用「終了」の場合→「Approval」を押下してワークフローを終了する

「管理者」の審査が完了した旨を利用者にメール通知する

メールは固定文を自動送信する

■申請した利用者がログインしている
→「管理者」に承認された場合、ワークフローは終了し、
アクティビティ一覧の「ALL」にのみ表示される



利用報告を確認する



JGSSセンター



利用者

ワークフローを確認する

システムに対応するデータ

- ① JGSS単年度データ： JGSS-2015, JGSS-2016,
JGSS-2017/2018統合データ、
JGSS-2017G/2018G統合データ
- ② JGSSライフコース調査データ
 - JGSS-2009LCS, JGSS-2013LCSwave2
 - 28歳以上42歳以下を対象に実施したパネル調査
- ③ JGSS地域ブロックと都道府県データ
 - 回答者の居住地に関する変数のみのデータ
- ④ JGSS地点情報データ
 - 詳細な抽出地点の情報のデータ
 - システムでは申請受付のみで、来所利用
- ⑤ EASSデータ： EASS 2006, EASS 2008, EASS 2010
EASS 2012, EASS 2014/2015, EASS2016

システムに対応するデータと承認者

データタイプ		単年度 データ			ライフコース データ			都道府県 データ		地点情報		EASSデータ		
ユーザ種別		一 般	院 生	学 部 生	一 般	院 生	学 部 生	一 般	院 生	一 般	院 生	一 般	院 生	学 部 生
指導教員の承認		-	指	指	-	指	指	-	指	-	指	-	指	指
保証人の承認		-	-	-	-	-	-	保	保	保	保	-	-	-
JGSSの承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
申請者	メールアドレス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	氏名	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	大学・機関	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	所属部局・部署	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	役職	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	電話番号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	所属学会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指導教員	氏名	-	○	○	-	○	○	-	○	-	○	-	○	○
	所属	-	○	○	-	○	○	-	○	-	○	-	○	○
	役職	-	○	○	-	○	○	-	○	-	○	-	○	○
	メールアドレス	-	○	○	-	○	○	-	○	-	○	-	○	○
	電話番号	-	○	○	-	○	○	-	○	-	○	-	○	○
保証人	氏名	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-
	所属	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-
	役職	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-
	メールアドレス	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-
	電話番号	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-
研究題目		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
研究計画		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

利用画面イメージ①：ログイン画面


社会科学部 日本学総合研究センター 大阪商業大学 JGSS 研究センター

アカウントにログイン

JGSSデータダウンロードシステムは、大阪商業大学 JGSS研究センターが運営するシステムです。
インターネット上でJGSSデータの利用申請を行うことができ、申請承認後データをダウンロードしてご利用いただくことができます。

ユーザ登録がお済の方は以下よりログインしてください。





[➡ ログイン](#)

[➡ Shibboleth User](#)

[JGSS が初めての方ですか? サインアップ](#)

[パスワードをお忘れの方はこちら](#)

利用画面イメージ②：データ選択画面

[Top](#)
[ワークフロー](#)
[Communities](#)

☒ Full text
 ☐ キーワ

インデックスツリー

- ▼ JGSSデータ
 - ▷ 単年度データ
 - ▷ ライフコースデータ
 - ▷ 都道府県データ
 - ▷ 地点情報データ<来所利用>
- ▷ EASSデータ

アイテムリスト

JGSSデータ / 単年度データ

エクスポート

JGSS-2017

JGSS-2017

JGSS-2016

JGSS-2016

ダウンロードシステム構築の進展と今後の予定

2019年	5~7月	他の拠点へのヒヤリングを重ねてシステムをデザイン
	9月~	システムを構築する日立製作所とNIIと確認・構築
2020年	1月	日立製作所から発注したシステムが納入
	5~8月	NIIの構築した実験環境でのシステムのテスト
	10月	日立製作所にシステム修正の発注
	11~12月	実験環境でのシステムテスト継続
	11~12月	メタデータのハーベスト試験に参加
2021年	1月~3月	試験環境でのシステムテスト継続？
	1月~3月	総合データカタログ試験運用に参加
	4月	JGSSデータダウンロードシステムでの データ公開開始 （JGSS独自リポジトリ）
	4月	総合データカタログ一般公開